

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（きなん） 紀南森林計画区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、和歌山県^{たなべ}田辺市を含む2市7町1村に所在する11千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、和歌山県南部に位置し、北は三重県、奈良県、^{きちゅう}紀中森林計画区に接し、西部から南部を経て東部にかけては^{きい}紀伊水道、^{くまのなだ}熊野灘に面しており、北部の^{はて}果なし山脈と南部の^{ひきがわ}日置川、熊野川の水源地帯、^{おおはま}大浜海岸などに大小の団地が散在している。</p> <p>本計画区内の森林面積211千haに占める国有林野の割合は5%と低いものの、国有林野面積の92%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源^{かん}涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の一部の国有林は、世界文化遺産や「^{よしの}吉野熊野国立公園」等に指定されており、その豊かな森林景観から地域の重要な観光資源にもなっており、ハイキングや自然散策など森林を利用した保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が52%と和歌山県内の民有林の人工林率61%に対して低い水準にあるが、一方で森林蓄積の約9割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：和歌山県

施行箇所：紀南森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,846,098	
	流域貯水便益	943,515	
	水質浄化便益	3,759,544	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,994,844	
環境保全便益	炭素固定便益	319,065	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,996	
	木材生産確保・増進便益	417,872	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,104,525	
総 便 益 (B)		12,388,459	
総 費 用 (C)		2,720,195	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,388,459}{2,720,195} = 4.55$		

森林環境保全整備事業 紀南森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】

森林整備	更新面積	315 ha
	保育面積	2,398 ha
路網整備	開設延長	1.00 km
	改良延長	0.27 km



熊野灘